

週報

日本基督教団 翠ヶ丘教会

since 1964

2026 年度年間聖句

「主は人の一步一步を定め
御旨にかなう道を備えてくださる。」
(詩編 37 編 23 節)



どなたにも開かれている定期集会

主日礼拝 毎日曜日 午前 10 時半
子どもの教会 毎日曜日 午前 9 時 ~10 時
祈 禱 会 各水曜日
○昼の聖書研究祈禱会
(第3・午後2時)
●夕の祈禱会
(第2、第4・午後7時)

牧 師 井 殿 準

〒 252-0312 相模原市南区相南 2-25-65
TEL. 042-742-1593
FAX. 042-742-1393
ホームページ: <http://www.midorigaoka.jp>
郵便振替口座 日本基督教団翠ヶ丘教会 本会計
00290-4-80707

3209 2026 年 5 月 10 日

礼拝式順序

(復活節第6主日)

司 式 者 井 殿 準
奏 楽 者 飯 塚 み どり

前 奏 奏 楽 者
招 詞 詩編 105 : 1 ~ 4 司 式 者
讃 美 歌 3 5 8 「小羊をばほめたたえよ!」 一 同
聖 書 司 式 者
ヨハネ 16 : 16 ~ 24 (新 P. 200)
使徒信条 (9 3 - 4 - A) 一 同
祈 禱 司 式 者
讃 美 歌 4 5 4 「愛する神にのみ」(1~4節) 一 同
説 教 「悲しむ者と共にいる主」 司 式 者
祈 禱 ”
讃 美 歌 1 3 2 「潤れた谷間に野の鹿が」 一 同
献 金 ”
主の祈り (9 3 - 5 - A) ”
頌 栄 2 4 「たたえよ、主の民」 ”
祝 禱 司 式 者
答 唱 4 0 - 6 「アーメン」 一 同
~ 「主の平和を」と、祈りを込めて隣席の方々と挨拶を交わしましょう~
報 告 司 式 者
讃 美 歌 9 1 「神の恵みゆたかに受け」 一 同

- ・当教会では讃美歌 21 と新共同訳聖書を使用しています。お持ちでない方は受付に常備されているものをご使用ください。
- ・立ち座りのご不自由な方はどうぞ着席のままお臨みください。
- ・FM電波による補聴器が用意されています。受付に常備してありますのでご利用ください。

先週の説教要旨

「繋がっている幸い」

(ヨハネ 15 : 1 ~ 11)

主イエスは、十字架の上で殺される前夜、ご自分が間もなく死に行くことを強く自覚しながら、残される弟子たちに向かって「わたしにつながっていなさい」と告げた (4 節)。

この言葉の通りに、我々はいつも主イエスに繋がっていたいと願っている。しかし、一方で、我々は、欲望のままに振る舞ったり、自分の力に頼って、主イエスと繋がっていた手を自ら振りほどいてしまうことがある。そのような我々に対して、主イエスは「わたしにつながっていなさい」という言葉と共に、「わたしもあなたがたにつながっている」とおっしゃってください。主イエスの方が我々のことをしっかりととらえていてくださるのだ。何度も手を振りほどいてしまう我々であるが、その度に、優しく手を伸ばし、我々と手をつなぎ直してくださるとは、何と幸いなことだろうか。

聖書とは、そのような話で溢れている。「湖を歩く」という話では、湖の上を歩く主イエスを見て、ペトロが自分も歩いてみたいと申し出ているが (マタイ 14 章他)、主イエスをまっすぐに見つめながら湖の上を歩き出したペトロが、途中で強い風が吹いていることに気づいて恐れを抱くと、途端に水に沈み始め、「主よ、助けてください」とペトロが叫ぶと、主イエスはすぐさま手を差し伸べて彼を助けてくださっている。同じように我々も、ある時は主イエスを見つめながらしっかりと歩いているが、ある時は主を忘れて、主と結ばれていた手を放し、様々に過ちを犯してしまうことがある。しかし、主イエスは、そんな我々のことを決して見捨てることなく、再び我々の手をしっかりと掴んで、我々と繋がりが続けてくださるのだ。

我々は、主イエスという「ぶどうの幹」に繋がること、赦しの愛をはじめ、様々な恵みを受けて、喜びと感謝の内に生きることへと押し出されて行く。「もう一度、互いに愛し合って生きて行こう」と思い直すことへも導かれる。「わたしにつながっていなさい」との招きに応じて、自ら進んで主イエスに手を差し出し、主に繋がらせていただいて歩んで行こう。